

イヴ・フェラトン教授（ロレーヌ大学）をお迎えして

井上さつき 愛知県立芸術大学音楽学部教授（音楽学）

イヴ・フェラトン先生はフランスのロレーヌ大学の音楽学の教授で、本学で講義をお願いするのはこれが3度目になる。ご自身の専門はフランス音楽で、フランス語しかお話しにならないが、日本をこよなく愛し、休みを使っては日本を訪れ、各地を旅していらっしゃるユニークな研究者である。

毎回、本学では、フェラトン教授に、学生の研究発表に対してコメントをいただくことと、ご自身による講演とを組み合わせをお願いし、成果を挙げている。発表題目や内容をあらかじめフェラトン教授にお伝えしておく、準備して来日されるのである。今回もその方式を採用し、2017年1月12日木曜日の音楽学研究の総合ゼミの枠を使い、その枠を拡大して、学生・修了生3名による研究発表とフェラトン教授による講演を実施した。

○日時：2017年1月12日（木）9時—12時

○場所：講義棟第6教室

○フェラトン教授プロフィール

教授の専門は18, 19世紀フランス音楽史。ロレーヌ地方、またリヨンの音楽生活についても研究している。ロレーヌ大学では音楽学の教授として、学部から大学院博士課程まで担当している。パリ音楽院の音楽史クラス（1974）、音楽学と分析クラス（1977）卒業後、パリ＝ソルボンヌ大学にて学士号、修士号、DEA, CAPES, アグレガシオン取得。1983年パリ＝ソルボンヌ大学にて博士号取得（主任指導教員：モングレディアン教授）論文は「ウィトコフスキー家とリヨン交響楽団（1903－1953）」。

その後、ナンシー第2大学にて、研究指導資格取得（1991）

数多くの著作があり、代表作として、『リヨンの50年間の音楽生活（1903－53）』（1984）、編者として『ロレーヌの音楽』（1994）など。

1. 学生・修了生による研究発表

以下の3名がフランス語で研究発表し、それぞれフェラトン教授からコメントをいただいた。特に、本学とソルボンヌ大とのコチュテル（博士論文共同指導）による国際的な学位審査を1月24日に控えていた七條さんにとっては、フェラトン教授のコメントは非常に有益であった。発表をフランス語で準備することは簡単なことではないが、全員きちんと準備し、日本人学生向けには日本語の要旨も用意していた。

- ・丹下聡子（本学非常勤講師、フルート奏者、博士号取得）
「アンリ・アルテスの導音の指使いについて」
- ・安田文野（本学博士後期課程1年、ピアノ）
「ジャック・イベール作曲《祝典序曲》の歴史的背景」
- ・七條めぐみ（本学博士後期課程3年、音楽学）
「アムステルダムにおけるリュリのオペラ組曲版——楽譜出版者エティエンヌ・ロジェ（1665/66-1722）に関する歴史、文献、音楽面からの研究——」

2. フェラトン教授による講演

「ポリニャック大公妃のパリのサロンとフランスの作曲家たち（1880 - 1940）」

第1部が長くなってしまったため、第2部のフェラトン教授による講演は時間を短縮して行った。第2部の講演に関しては一般公開で実施した。

講演の内容は、アメリカのミシン王シンガー家に生まれ、フランスの名門貴族ポリニャック大公と結婚し、有名な音楽サロンを開いていたポリニャック大公妃についてのもので、その音楽サロンと当時のフランスの作曲家との関わりを軸に、音楽を交えながら講演された。通訳は七條めぐみさん。

フェラトン教授の講演はいつもユニークな内容で興味深い。ご本人も大変満足していらっしゃる、今後も日本に来たときにはぜひ愛知芸大で教えたいとおっしゃっている。

音楽学研究総合ゼミ

ポリニャック大公妃のパリのサロンと
フランスの作曲家たち（1880-1940）


講師：イヴ・フェラトン（ロレーヌ大学教授）

平成29年1月12日（木）10:30-12:00
愛知県立芸術大学 講義棟第6教室

フランス語による講演（通訳つき）になります。

専門は18、19世紀フランス音楽史。ロレーヌ地方、またリヨンの音楽生活についても研究している。ロレーヌ大学では音楽学の教授として、学部から大学院博士課程まで担当している。パリ音楽院の音楽史クラス（1974）、音楽学と分析クラス（1977）卒業後、パリ＝ソルボンヌ大学にて学士号、修士号、DEA, CAPES, アグレガシオン取得。1983年パリ＝ソルボンヌ大学にて博士号取得（主任指導教員：モンクレティアン教授）論文は「ウイトコフスキー一家とリヨン交響楽団（1903-1953）」。その後、ナンシー第2大学にて、研究指導資格取得（1991）

数多くの著作があり、代表作として、『リヨンの50年間の音楽生活（1903-53）』（1984）、編者として『ロレーヌの音楽』（1994）など。



どなたでも参加できます。参加無料。

特別講座チラシ